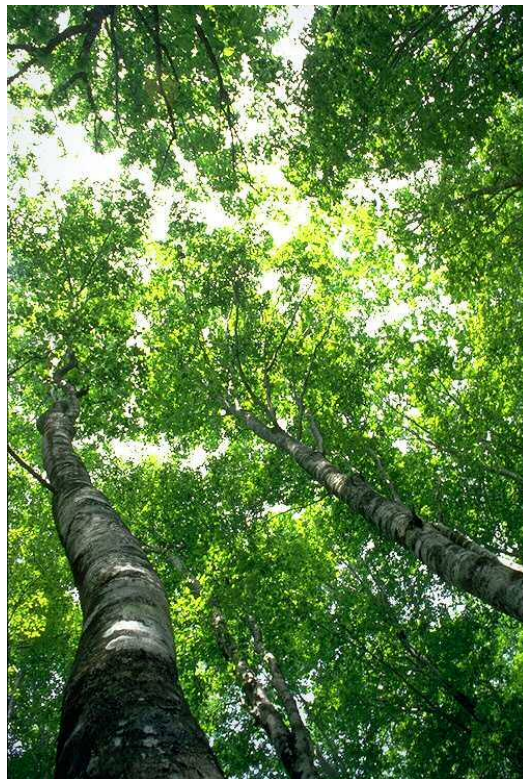


環境経営レポート

第44期（令和3年6月1日～令和4年5月31日）の成果



作成日：令和4年9月15日



株式会社 栗原建設

1. 環境経営方針

基本理念

株式会社 栗原建設は、事業活動を通して社員一人一人が自然環境に対する認識を深め、より良い地球環境を次の世代へ引き継ぐことを目指し、自然環境の保全及び維持向上に取り組めます。

基本方針

1. 環境負荷低減の為、次の事に積極的に取り組めます。
 - 1) 省エネルギー設計、環境配慮施工・工法を推進します。
 - 2) 省エネルギー、省資源活動を推進します。
 - 3) 産業廃棄物発生抑制及び資源循環に取り組めます。
 - 4) 5 S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）運動を行います。
 - 5) グリーン製品を購入します。
 - 6) 地域貢献活動を積極的に行います。
2. 環境に関する法規制、地域との協定書の遵守に努めます。
3. 社内での環境経営方針の周知徹底と継続的な改善に努めます。

制定日：平成 21年11月 1日

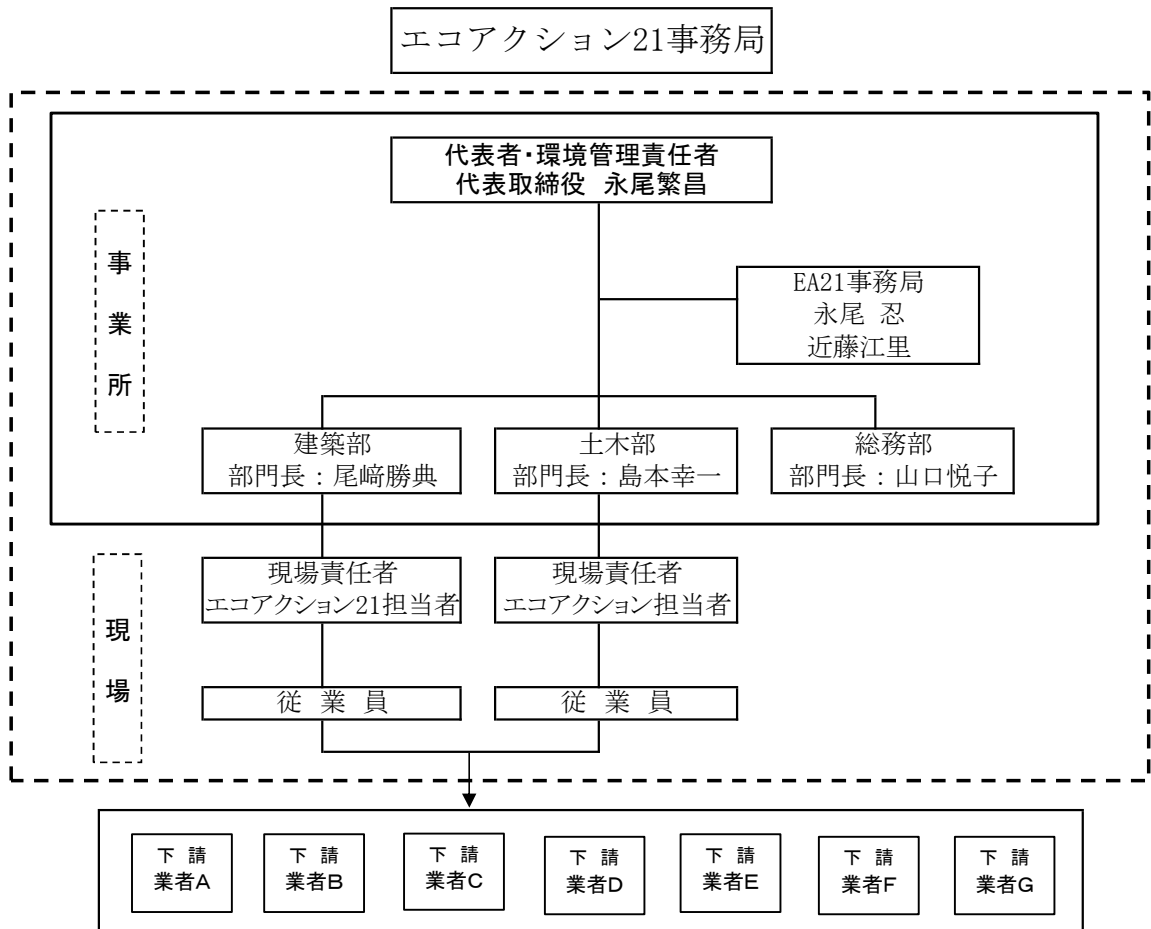
改定日：平成 30年 8月 1日

株式会社 栗 原 建 設
代表取締役 永尾 繁昌

2. 会社概要

1. 事業者名及び代表者名
株式会社 栗原建設
代表取締役 永尾繁昌
2. 所在地
佐賀県武雄市山内町大字鳥海18531番地1
3. 環境管理責任者氏名
代表取締役 永尾繁昌
4. 連絡先
TEL 0954-45-4361
FAX 0954-45-4872
E-mail kuriken@herb.ocn.ne.jp
5. 事業の内容
 - 1) 特定建設業許可：土木工事業、建築工事業、大工工事業、とび・土工工事業
石工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業
鋼構造物工事業、ほ装工事業、しゅんせつ工事業、
塗装工事業、内装仕上工事業、水道施設工事業
左官工事業、板金工事業、防水工事業、建具工事業
鉄筋工事業、ガラス工事業、熱絶縁工事業、解体工事業
 - 2) 一般建設業許可：管工事業
 - 3) 一級建築士事務所の登録
 - 4) 宅地建物取引業
6. 認証・登録の範囲
土木工事業、建築工事業、大工工事業、とび・土工工事業、石工事業、
屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、舗
装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、内装仕上工事業、水道施
設工事業、左官工事業、板金工事業、防水工事業、建具工事業、
鉄筋工事業、ガラス工事業、管工事業、建築設計施工監理業
解体工事業、宅地建物取引業
7. 事業の規模
年間売上高 1,066,614,000円
従業員数 30名
資本金 20,000,000円
8. 事業年度 令和3年6月1日～令和4年5月31日
9. 取り組みの対象組織及び活動 ： 全組織・全活動

3. 実施体制図



役割分担表

所属	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ 環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する 環境管理責任者、エコアクション21事務局員を任命する 環境への取組を実施するための資源（人・もの・金）を準備する エコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> エコアクション21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる
エコアクション21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、エコアクション21文書及び記録類の作成・維持・管理を行う 社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営活動計画を部門全員に周知する。 自部門の環境経営目標、環境経営活動計画の達成と実績の把握を行う 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する 自部門に関連する法規制等を順守する 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する 自部門の教育・訓練を実施する
現場責任者・従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚する 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する 新規入場者教育の実施（下請業者）

4. 環境経営目標とその実績

4-1. 環境経営目標（事務所+現場）

①二酸化炭素排出量の削減

取組項目（単位）			第42期	第43期	第44期	第45期
			R1. 6. 1 ～ R2. 5. 31 (基準値)	R2. 6. 1 ～ R3. 5. 31 (第42期比)	R3. 6. 1 ～ R4. 5. 31 (第42期比)	R4. 6. 1 ～ R5. 5. 31 (第42期比)
二酸化炭素排出量	kg-CO ²	全体	225,126.48	224,000.85 (0.5%削減)	222,875.22 (1.0%削減)	221,749.58 (1.5%削減)
電力使用量	kWh	事務所	14,005.00	13,934.98 (0.5%削減)	13,864.95 (1.0%削減)	13,794.93 (1.5%削減)
		現場	9,547.00	9,499.27 (0.5%削減)	9,451.53 (1.0%削減)	9,403.80 (1.5%削減)
LPG使用量	kg	事務所	60.45	60.15 (0.5%削減)	59.85 (1.0%削減)	59.54 (1.5%削減)
ガソリン使用量	L	事務所	20,032.76	19,932.60 (0.5%削減)	19,832.43 (1.0%削減)	19,732.27 (1.5%削減)
軽油使用量	L	現場	63,664.50	63,346.18 (0.5%削減)	63,027.86 (1.0%削減)	62,709.53 (1.5%削減)
灯油使用量	L	現場	100.02	99.52 (0.5%削減)	99.02 (1.0%削減)	98.52 (1.5%削減)

※二酸化炭素排出量の電気使用量に用いた排出係数は九州電力0.370kg-CO²/kWh(令和1年度)を使用した。

②建設リサイクルの推進

取組項目（単位）			第42期	第43期	第44期	第45期
			R1. 6. 1 ～ R2. 5. 31 (基準値)	R2. 6. 1 ～ R3. 5. 31 (第42期比)	R3. 6. 1 ～ R4. 5. 31 (第42期比)	R4. 6. 1 ～ R5. 5. 31 (第42期比)
建設リサイクルの推進	(%)	現場	98.19	98.19 (基準年度維持)	98.19 (基準年度維持)	98.19 (基準年度維持)
一般廃棄物	(kg)	事務所	47.50	47.26 (0.5%削減)	47.03 (1.0%削減)	46.79 (1.5%削減)

③水資源使用量の削減

取組項目（単位）			第42期	第43期	第44期	第45期
			R1. 6. 1 ～ R2. 5. 31 (基準値)	R2. 6. 1 ～ R3. 5. 31 (第42期比)	R3. 6. 1 ～ R4. 5. 31 (第42期比)	R4. 6. 1 ～ R5. 5. 31 (第42期比)
水	m ³	事務所	192.00	191.04 (0.5%削減)	190.08 (1.0%削減)	189.12 (1.5%削減)
		現場	34.00	33.83 (0.5%削減)	33.66 (1.0%削減)	33.49 (1.5%削減)

④環境配慮施工

- ・事故ゼロ（危険予知活動、安全パトロール、声かけ）
- ・手戻りゼロ（作業前のミーティング、打ち合わせの徹底、情報の共有）
- ・再生資材を利用する。

⑤地域貢献活動

- ・地域の一員として生活に密着した活動を行う。

4-2. 第44期の実績（事務所＋現場）

第44期（R3.6.1～R4.5.31）の環境経営目標と実績との比較である。

①二酸化炭素排出量の削減

取組項目（単位）		第44期 環境目標	第44期 実績	環境目標と 実績の比	判定
二酸化炭素排出量	kg-CO ² 全体	222,875.22	215,297.05	96.59	○
電力使用量	事務所	13,864.95	14,381.00	103.72	×
	現場	9,451.53	7,014.00	74.21	○
LPG使用量	kg 事務所	59.85	50.10	83.71	○
ガソリン使用量	L 事務所	19,832.43	18,690.62	94.24	○
軽油使用量	L 現場	63,027.86	63,425.79	100.63	×
灯油	L 現場	99.02	92.30	93.21	○

※二酸化炭素排出量の電気使用量に用いた排出係数は九州電力（令和1年度）0.370kg-CO²/kWhを使用した。

②建設リサイクルの推進

取組項目（単位）		第44期 環境目標	第44期 実績	環境目標と 実績の比	判定
建設リサイクルの 推進	% 現場	98.19	95.92	97.68	×
一般廃棄物	Kg 事務所	47.03	47.50	101.01	×

③水資源使用量の削減

取組項目（単位）		第44期 環境目標	第44期 実績	環境目標と 実績の比	判定
水	事務所	190.08	165.00	86.80	○
	現場	33.66	12.00	35.65	○

④環境配慮施工

- ・事故ゼロ
- ・手戻りゼロ
- ・再生クラッシャーランの購入。

⑤地域貢献活動



- ・近隣小学校の会社見学



- ・「子ども110の家」



- ・地域用水路の清掃ボランティア活動

*その他

インターンシップ（職業訓練校）や、
職業体験（高校生）の受け入れ

5. 環境経営計画

5-1. (事務所+現場)

(1) 二酸化炭素排出量削減のための取組み目標と取組み方法

- 1) 電気使用量の削減
 - ①冷暖房の設定温度を決め、実行する。
 - ②こまめに消灯する。
- 2) LPG使用量の削減
消し忘れをなくす。
- 3) ガソリン使用量の削減
 - ①アイドリングストップを実行する。
 - ②過積載防止。
- 4) 軽油使用量の削減
 - ①アイドリングストップを実行する。
 - ②過積載防止。

(2) 廃棄物排出量の削減のための取組み目標と取組み方法

- 1) 建設リサイクル率の維持
 - ①分別を徹底し、資源にする。
- 2) 一般廃棄物排出量削減
 - ①分別を徹底し、リサイクルに努める。

(3) 水資源使用量の削減のための取組み目標と取組み方法

- 1) 水資源使用量の削減
 - ①こまめに蛇口を閉める。

(4) 環境配慮施工のための取組み目標と取組み方法

- 1) 事故ゼロ
 - ・危険予知活動、安全パトロール。
- 2) 手戻りゼロ
 - ・作業前のミーティング、打合せの徹底。

(5) 地域貢献活動

- ・積極的に参加する。

5-2環境経営計画の取組結果とその評価

①二酸化炭素排出量の削減

※実施状況の判定 責任者が状況を判定する ○:実行されている ×:実行されていない

目標	活動項目	責任者	実施状況											
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
電気使用量削減	冷暖房の設定温度を決め、実行する こまめに消灯する。	永尾	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
LPG使用量削減	消し忘れをなくす	山口	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ガソリン使用量削減	アイドリングストップを実行する 過積載を防止する	中村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
軽油使用量削減	アイドリングストップを実行する 過積載を防止する	島本	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		評価	活動項目については、実施できている。冷暖房は外気温の様子を見て体調管理優先しましょう。(R4.8. 25 永尾繁昌)											

②廃棄物排出量の削減

※実施状況の判定 責任者が状況を判定する ○:実行されている ×:実行されていない

目標	活動項目	責任者	実施状況											
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
建設リサイクル率の維持	分別を徹底し、資源にする	山北	×	○	○	×	×	○	—	×	×	×	×	×
一般廃棄物排出量削減	分別を徹底し、リサイクルに努める	山口	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
		評価	分別を徹底し、再生できるようにしましょう。(R4.8. 25 永尾繁昌)											

③水資源使用量の削減

※実施状況の判定 責任者が状況を判定する ○:実行されている ×:実行されていない

目標	活動項目	責任者	実施状況											
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
水資源使用量削減	こまめに蛇口を閉める	永尾	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×
		評価	蛇口の締め忘れがあったようです。確認を怠らないようにしましょう。(R4. 8. 25 永尾繁昌)											

④環境配慮施工

※実施状況の判定 責任者が状況を判定する ○:実行されている ×:実行されていない

目標	活動項目	責任者	実施状況											
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
事故ゼロ	危険予知活動、安全ハットルール	島本	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
手戻りゼロ	作業前のミーティング、打ち合わせの徹底		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		評価	体調管理に気を付けましょう。作業前の打合せや声かけを徹底しましょう。(R4.8. 25 永尾繁昌)											

⑤地域貢献活動

※実施状況の判定 責任者が状況を判定する ○:実行されている ×:実行されていない

目標	活動項目	責任者	実施状況											
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
地域貢献活動	積極的に参加する	近藤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		評価	できることを意識して行動出来ました。(R4.8. 25 永尾繁昌)											

5-3. 次年度の取組内容

取組状況を確認した結果、評価できる内容であったため4-1に示す環境経営目標及び5.に示す環境経営活動計画は継続して実施する。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

環境関連法規等の遵守状況は、環境管理責任者が確認し、評価している。
朝礼や工程会議を利用し、環境関連法規等の遵守を徹底している。

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の違反はない。また、訴訟等もない。

(3) 当社に関わる主な環境関連法規

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

廃棄物の種類ごとにマニフェストを交付し最終処分までの確認している。

建設リサイクル法

廃棄物発生抑制及び再資源化に係る費用を低減する努力をしている。

特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（オフロード法）

基準適合表示を受けた特定特殊自動車を使用している。

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律

簡易点検を行い管理している。

7. 代表者による評価と見直し・指示

(1) 評価

1) 全社員一丸となってエコ活動に取り組んでいる。

2) 環境経営目標については、未達成がある。その理由は

①電力使用量

*事務所：夏の猛暑に加え、換気をしながらの空調使用により電気使用量が
増えたため。

②軽油使用量

*重機を使用している施工が多かったため。

③建設リサイクルの推進

*安定型廃棄物の埋立処分が多かったため。

3) 事故や苦情はなく工事をすることが出来た。

4) 近隣小学校の会社見学の受け入れや、近隣生活道路の草刈り・清掃などを実施した。

また、こども110番として子供達の安全を見守っている。

(2) 見直し・指示

1) エコ活動は継続して実施する。

2) 環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画、実施体制は現状のままとする。